



重富小学校 学校便り

剣の平

令和6年度 10月号
創立136周年

(重富小HPアドレス)
<http://www12.synapse.ne.jp/sigetomisyo/>

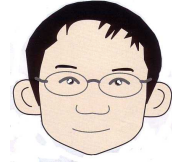
学校
教育
目標

「剣の平」に誓う
光り輝く重富の子

学校キャッチフレーズ

Well-beingな学校

運動会に向けて 「自律する力」と「共感する心」



校長 平 千力

「限界突破 仲間を信じて 勝利を目指せ」

今年の秋季大運動会のスローガンです。今年は10月開催となった運動会。今、まさに、運動会に向けての練習まっただ中です。

どの学年も、かけっこ、短距離走、団体種目、表現、リレー等の練習に一生懸命です。

私は、今月の全校朝会でこのような話を子供たちにしました。

私の中学1年生の全員リレーでの体験談です。私は当時、自宅と学校が6km程あり、毎日、自転車で学校に通っていました。父が厳しく、台風でない限り、雨の日も合羽を着て自転車で学校へ通いました。そのおかげで足腰が強くなり、短距離走が得意になりました。体育大会が楽しみでたまりませんでした。私は、もともと勝ち気な性格でしたので一番になるのが大好きでした。だから、練習にも気合いが入りました。

そんな私は、全員リレーで第1走者でした。「よーい、パーン。」第1コーナーを回るまでは先頭でした。あまりにも気合いが入っていたため「よし」と思った瞬間バランスを崩しました。後ろの大柄な男子と交錯し転倒してしまいました。小柄な私は、その後全員に踏まれ、結局、最後となり第2走者へバトンを渡してしまいました。



もう、何がどうなっているのか分からず、ずっと下を向いていました。リレーが終わったことも全く記憶にありません。「やってしまった。」「みんなに怒られる。」と言う気持ちと情けない気持ちで顔を上げることができません。そんな私の周りに、クラスメイトが駆け寄ってきました。「千力、大丈夫か。怪我はないか。」「みんな一生懸命頑張ったよ。」「いつも練習を引っ張ってくれてありがとう。」と言ってくれました。私は、泣きながら「ごめん。」と言いました。

この光景は、45年以上前の事です、はっきり記憶として残っています。

一生懸命練習をして一番になることは嬉しいことですが、それ以上に、みんなで毎日練習したことで、学級がまとまりました。今思えば、自主的に練習する「自律する力」が育ったのと、失敗してしまった私に「共感する心」が強く刺さりました。それ以来、私は、人間が成長するには、「自律する力」と「共感する心」が大事だと思っています。

さて、子供たちは、今朝も学級ごとに校庭に出て「バトンパス」の練習を行っています。真剣です。一生懸命です。先生方も真剣です。

今年の大運動会。どんな、感動する姿が見られるのか楽しみでたまりません。